

令和2年度札幌市アイヌ施策について

札幌市

目 次

施策目標 1：市民理解の促進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

推進施策 1：伝統文化の啓発活動の推進

- ① アイヌ文化体験講座の実施
- ② アイヌ文化交流センターイベントの実施
- ③ アイヌ民族古式舞踊（輪踊り）の実施
- ④ 小中高校生団体体験プログラムの実施
- ⑤ 小中高校生団体出前体験プログラムの実施
- ⑥ 公共空間を利用した情報発信・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- ⑦ 市民参加によるアイヌアートモニュメントの制作
- ⑧ インカルシペ・アイヌ民族文化祭開催の支援
- ⑨ アイヌ文化振興・保存・伝承活動への補助
- ⑩ 「イランカラプテ」キャンペーンの推進
- ⑪ アイヌ文化を発信する空間の管理運営・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- ⑫ ウポポイ（民族共生象徴空間）を活用したアイヌ文化の発信
- ⑬ 中庭改修に係る基本計画策定

推進施策 2：教育等による市民理解の促進

- ① 新任課長職への研修の実施
- ② 新採用職員への研修の実施
- ③ 民族教育の充実（ムックリ体験等）

施策目標 2：伝統文化の保存・継承・振興・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

推進施策 1：アイヌ民族の歴史を尊重する施策の推進

推進施策 2：伝統文化活動の推進

- ① アイヌ文化交流センターの運営
- ② アイヌ文化交流センター機能の充実
- ③ イオル再生事業の実施

施策目標 3：生活関連施策の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

推進施策 1：産業振興等の推進

- ① 民芸品の定期販売会の実施
- ② アイヌ文化のブランド化推進

推進施策 2：生活環境等の整備

- ① 住宅新築資金等の貸付
- ② アイヌ生活相談員・アイヌ教育相談員の配置
- ③ アイヌ民族の児童・生徒への学習支援

施策目標 1 : 市民理解の促進

推進施策 1 : 伝統文化の啓発活動の推進

予算額 : 63,674 千円 (R1 年度 : 125,757 千円)

① アイヌ文化体験講座の実施

アイヌ語、手芸、工芸、料理等の体験講座を実施する。

開催予定場所: アイヌ文化交流センター、中央区民センター、東区民センター、白石区民センター、豊平区民センター、清田区民センター、北海道大学

② アイヌ文化交流センターイベントの実施

アイヌミュージック、古式舞踊、ムックリ・刺繍等製作体験、昔話、昔遊び、紙芝居等を実施する。

③ アイヌ民族古式舞踊（輪踊り）の実施

アイヌ文化交流センターにおいて、来館者等によるアイヌ民族の古式舞踊（輪踊り）の体験を実施する。

④ 小中高校生団体体験プログラムの実施

アイヌ文化交流センターにおいて、小中高校生に伝統楽器の演奏、古式舞踊の披露、アイヌ伝統文化の体験、展示解説等を実施する（目標校数：80校）。

また、アイヌ文化交流センターに来館するために必要なバスの借上費用を支援する。

⑤ 小中高校生団体出前体験プログラムの実施

遠隔地にあるなどの事情により、アイヌ文化交流センターに来館しての体験プログラムの実施が困難な学校に出向いて、伝統楽器の演奏、古式舞踊の披露、アイヌ伝統文化の体験等を実施する（目標校数：50校）。

⑥ 公共空間を利用した情報発信

夏まつりやオータムフェスト等のイベントの開催に合わせて、アイヌ民族の伝統的楽器の演奏や歌、踊り等を実施する。

また、アイヌ民族に対する市民理解の促進を目的として、アイヌモニュメント（タペストリー）をJRタワー1階西コンコース、札幌駅前通地下歩行空間及び札幌市役所本庁舎1階ロビーに継続して設置する。

⑦ 市民参加によるアイヌアートモニュメントの制作

市民が「見て」、「触れて」アイヌ文化を感じていただくというコンセプトにより、公募した市民がアイヌ民族の指導のもとタペストリーを共同制作し、札幌駅前通地下歩行空間（チ・カ・ホ）の地下鉄南北線さっぽろ駅側の柱に展示する。

⑧ インカルシペ・アイヌ民族文化祭開催の支援

札幌アイヌ協会が開催するアイヌ民族シンポジウム、ペウレアイヌの集い、ムックリ大会、トンコリ大会、アイヌミュージックコンサート、アイヌ民族の生活文化や歴史等に関するパネル展示に対し、補助を行う。

⑨ アイヌ文化振興・保存・伝承活動への補助

アイヌ民族の若い世代の交流促進活動やアイヌの子弟に対する学習支援活動、アイヌ民族の現状や人権等に関する講演の開催、アイヌ文化に関する啓発活動などといった札幌アイヌ協会が実施する事業に対し、補助を行う。

⑩ 「イランカラプテ」キャンペーンの推進

公共空間等を活用して、国や北海道と連携して取り組む「イランカラプテ」キャンペーンを展開する。

- ・市役所本庁舎1階ロビーのタペストリー展示什器裏に、キャンペーンを啓発する大型フィルムシートを継続設置
- ・市役所が実施する職員研修や各種体験講座の実施時に参加者へリーフレットを配布

⑪ アイヌ文化を発信する空間の管理運営

2019年3月に供用を開始した「アイヌ文化を発信する空間（ミナパ）」の管理運営及び維持更新を行い、継続的にアイヌ文化への理解の促進を図る。

⑫ ウポポイ（民族共生象徴空間）を活用したアイヌ文化の発信

アイヌ文化に対する市民理解の促進を図るため、町内会などの地域団体を対象として、ウポポイ（民族共生象徴空間）とアイヌ文化交流センターを巡るバスツアーを実施する。

⑬ 中庭改修に係る基本計画策定

身近な「食」からアイヌ文化への興味を喚起するため、アイヌ文化交流センター内のライトコート（中庭）を、アイヌ料理に用いる自然素材などの見学スペースとしてリニューアルするための改修に係る基本計画を策定する。

推進施策2：教育等による市民理解の促進

予算額：4,746千円（R1年度：4,793千円）

① 新任課長職への研修の実施

新任課長を対象として、アイヌ民族の歴史・伝統文化や現在置かれている状況、国の動向等について研修を実施する。

② 新採用職員への研修の実施

新採用職員を対象として、アイヌ民族の歴史・伝統文化、人権に関する基礎研修を実施する。（主催：総務局自治研修センター）

③ 民族教育の充実（ムックリ体験等）

アイヌ民族の歴史・文化等への興味・関心を高めるために、団体体験プログラムと連携した伝統楽器「ムックリ（口琴楽器）」の体験機会の提供、「トンコリ（五弦琴）」の学校への貸出を行う。

施策目標 2 : 伝統文化の保存・継承・振興

推進施策 1 : アイヌ民族の歴史を尊重する施策の推進

推進施策 2 : 伝統文化活動の推進

予算額 : 99,461 千円 (R1 年度 : 60,095 千円)

① アイヌ文化交流センターの運営

アイヌ文化の保存・継承・振興、市民との交流等を促進するため、アイヌ文化交流センターで次の事業を行う。

- ・アイヌ文化体験講座
- ・アイヌ文化交流センターイベント
- ・アイヌ民族古式舞踊（輪踊り）
- ・小中高校生団体体験プログラム
- ・小中高校生団体出前体験プログラム

また、団体体験プログラム及び団体出前体験プログラムで使用する民族衣装や道具を制作する。

② アイヌ文化交流センター機能の充実

来館者満足度や集客効果の向上のため、展示室内の展示品の詳細な情報を紹介する展示物ガイドアプリの導入、外国人対応として多言語に翻訳した展示物説明プレートの設置や屋内外で無料使用できる Wifi 環境の整備、外国人と円滑な意思疎通を図るための翻訳機を導入する。

また、老朽化したポンチセの建替や、チセの内部に昔のアイヌ民族の暮らしぶりを再現した人形等の展示物の制作を実施する。

③ イオル再生事業の実施

アイヌの伝統的生活空間再生事業（イオル再生事業）を推進するため、自然素材育成事業、体験交流事業を実施する。

施策目標 3 : 生活関連施策の推進

推進施策 1 : 産業振興等の推進

予算額 : 18,299 千円 (R1 年度 : 20,243 千円)

① 民芸品の定期販売会の実施

民芸品の常設販売店の設置に向けて、民芸品の供給体制の強化や人材育成・担い手の確保を目的として、民芸品の販売会を定期的を実施する。

② アイヌ文化のブランド化推進

民芸品の常設販売店の設置に向けて、アイヌ文化に関連した新たな商品の開発を行うなど、アイヌ文化のブランド化に向けたプロモーション活動を展開する。

推進施策 2 : 生活環境等の整備

予算額 : 48,218 千円 (R1 年度 : 46,901 千円)

① 住宅新築資金等の貸付

アイヌ民族の居住環境の整備・改善のため、住宅の新築・改修、宅地取得等の資金貸付を行う。

② アイヌ生活相談員・アイヌ教育相談員の配置

アイヌ生活相談員を 2 名配置し、生活に関する相談に対応する。(1 名はアイヌ文化交流センター、1 名は共同利用館に配置)

アイヌ教育相談員を 1 名配置し、教育に関する相談に対応する。(教育委員会がアイヌ文化交流センターに配置)

③ アイヌ民族の児童・生徒への学習支援

夏季・冬季休業期間にアイヌ民族の児童・生徒に対し、学習支援を行う。

その他の予算 予算額 : 18,189 千円 (R1 年度 : 22,858 千円)

【主な項目】事務費(職員人件費・備品購入費)、共同利用館運営費、アイヌ施策推進委員会諸経費、アイヌ住宅貸付滞納整理経費等